

平成30年度予算

※表示単位未満をそれぞれ四捨五入しているため、合計は総額と一致しない場合があります。
 ※平成30年度当初予算および平成30年度補正予算(第1号)を合算し、概要をまとめています。
 財政課(☎65-6506)

一般会計予算額
529億円(前年度比4.3%増)

特別会計予算額
264億6,000万円(前年度比23.4%減)

企業会計予算額
289億5,274万円(前年度比41.8%増)

※平成30年4月1日から、公共下水道事業が地方公営企業法の財務規定を適用し、特別会計から企業会計へ移行します。

一般会計予算のポイント

今年度の一般会計予算総額は**529億円**。産業文化交流拠点等の大型建設費やしょうがい者自立支援、保育所・認定こども園の運営費等の扶助費の増加により、5年ぶりに予算規模が拡大しました(前年度より22億円増)。

また、産業文化交流拠点や消防本部庁舎等の整備により市債借入(新たな借金)額は45.1億円となりましたが、これまでの計画的な繰上償還により市債残高は前年度より4億円減少する見込みです。基礎的財政収支も8.7億円の黒字と、市の財政は健全性を堅持しています。

平成30年度の予算は、「長浜市総合計画」の重点プロジェクトを中心に配分しました。

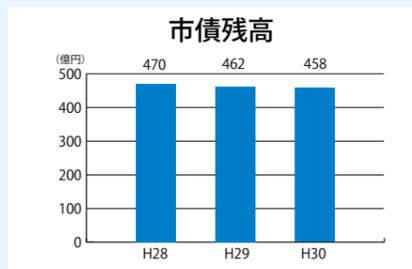
今年度は、みんなで支える子育て支援、市民生活の安定に向けた福祉の人材確保・育成、暮らしを支えるインフラ整備に取り組みます。

具体的な取組については6ページ以降をご覧ください。

◆市債(市の借金)の状況(一般会計分)

平成30年度は11.6億円の繰上償還を実施し、さらなる借金の圧縮に努めます。

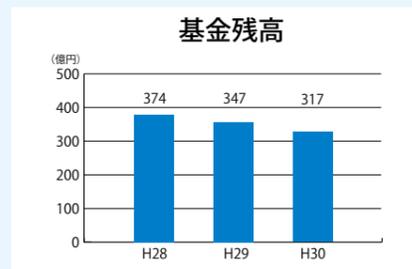
平成30年度末在高見込み
458億円 前年度比4億円減



◆基金(市の貯金)の状況(一般会計分)

借金の繰上償還(返済)や大規模な建設事業等に充てるため、31.3億円の基金を取り崩します。

平成30年度末在高見込み
317億円 前年度比30億円減



長浜家(市)の家計簿 ~年収400万円の家計に例えてみました~

表を見ると、食費・光熱費、医療費・教育費、借金の返済など必ず支払わなければならないものへの出費が多いことがわかります。また、高齢化などにより医療費が増えているので、ますます決まった支出が増えています。家計でいうと、自由に使えるお金が少なく、節約が厳しい状況といえます。

このような中、これまで借金を繰上返済し、毎年の返済額を減らすなどの前準備を十分に行ったことにより、子育て・教育費や家の増築などの新しいことにも力を入れることができています。

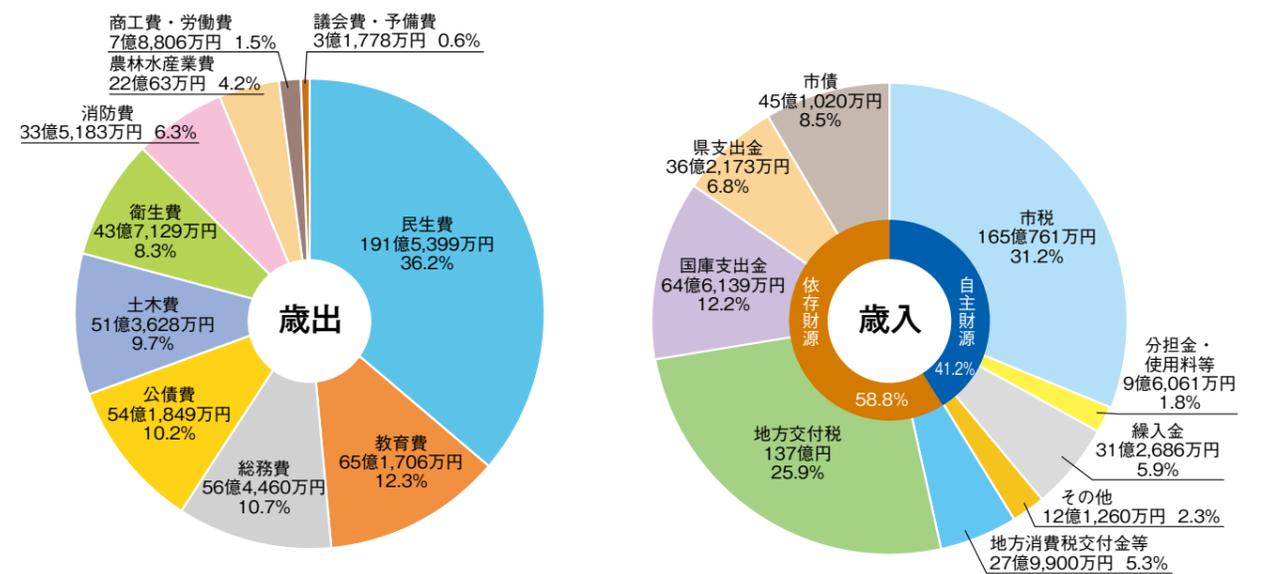
今後も、先を見据えて必要なことに取り組めるよう、引き続きお金のやりくりにも力を入れていきます。

収入・支出項目(実際の項目)	収入の部	支出の部	前年との増減
給与(市税や地方交付税など)	400万円		±0
諸手当(施設の利用料など)	61万円		+2万円
親からの仕送り(国や県からの支出金)	116万円		+8万円
食費・光熱費(人件費や委託料、補助金など)		299万円	+42万円
医療費・教育費(福祉関係にかかるお金)		128万円	+5万円
家の修理費(道路や学校などの修繕費)		3万円	±0
家の増築(道路や学校などの建築事業費)		50万円	+12万円
子どもへの仕送り(特別会計に支出するお金など)		57万円	-21万円
借金の返済(市債の元金や利子の支払い)		62万円	-7万円
貯金(基金に積み立てるお金)		2万円	±0
その他(予備費など)		6万円	-1万円
小計	577万円	607万円	
収入不足の補てん			
○貯金の取り崩し(財政調整基金繰入金)		貯金残高 67万円(-1万円)	
○借金(市債)	30万円	借金残高 525万円(-2万円)	
合計	607万円	607万円	

うまくやりくりして、去年より借金残高を減らすことができました



一般会計【歳入・歳出の内訳】



歳出のポイント

民生費は、しょうがい者自立支援扶助費や保育所・認定子ども園関係の運営費等の増加により前年度比2.3億円増となりました。

また、産業文化交流拠点や消防本部庁舎等の整備により、教育費と消防費合わせて24.4億円と大幅に増加しました。

公債費は、これまでの市債残高削減の取組効果のほか、繰上償還額の縮小により前年度比6.3億円減少しました。

歳入のポイント

市税は、給与所得者等の増加にともない、個人市民税が増加したものの、固定資産の評価替えやたばこの売上低下などの影響で前年度比1.1億円の減少。また、合併後の優遇措置の縮減等により地方交付税も1億円の減少となりました。

一方、産業文化交流拠点の建設等により国庫支出金が前年度比5.4億円増加し、その他整備事業の増加により市債も前年度比16.6億円増加しました。